

令和8年 労働災害発生状況（令和8年4月末現在）

（休業4日以上での死傷者数）

日立労働基準監督署

業種		8年		7年		同期比	
		死亡	休業	死亡	休業	死亡	休業
製造業	食料品						
	木材・木製品						
	化学工業		2	1	1		
	金属製品		1	2	2	-1	
	一般・電気・輸送用機械		4	1	6	-1	-2
	その他		2		3		-1
小計			9	1	12	-1	-3
建設業	土木工事	1	5	1	1	1	4
	建築工事（木造除く）			1			-1
	木造建築工事			1			-1
	その他の工事		1	4			-3
小計		1	6	7	1	-1	
陸上貨物運送事業			2	3			-1
畜産業				2			-2
小売業			1	2			-1
社会福祉施設			4	2			2
その他			12	10			2
計		1	34	1	38	0	-4

STOP! 熱中症クールワークキャンペーン

職場での熱中症により近年は、一年間で約30人が亡くなり、約1,000人以上が4日以上仕事を休んでいます。

準備期間 4月 にすべきこと

- 労働衛生管理体制の確立
 - 事業場ごとに熱中症予防の管理責任を委任し、熱中症予防の責任体制を確立
- 暑さ指数（WBGT）の把握の準備
 - JIS規格に適合した暑さ指数計を準備し、点検
- 休憩場所の確保の検討
 - 冷房を備えた休憩場所や、涼しい休憩場所の確保を検討
- 服装の検討
 - 透気性と吸水性の良い服装を準備。送風や送風による身体を冷却する機能を七つ指の着用を検討
- 作業手順・作業計画の策定
 - 暑さ指数に応じた休憩時間の確保、作業中止に関する事項を含めた作業手順・作業計画を策定
- 設備対策の検討
 - 暑さ指数低減のための扇風機、送風または冷房設備、取水設備の設置を検討
- 教育研修の実施
 - ガイド・労働者、e-learning 管理者、作業員に対する教育を実施
- 緊急時の対応の事前確認
 - 緊急時の対応（搬送時における連絡体制や対応手順等）を確認し、関係者に周知

準備期間 4月 5月 6月 7月 8月 9月

準備 重点取組

熱中症対策情報はこちら

キャンペーン期間

きちんと実施されているかを確認し、☑チェックしましょう。

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
8年	13	9	(1) 8	4									(1) 34

年齢別	件数	率(%)
～19歳		
20～29歳		
30～39歳	2	5.9%
40～49歳	(1) 11	32.4%
50～59歳	6	17.6%
60歳～	15	44.1%

規模別		事故の型別													
		規模 9人	規模 4～9人	規模 1～3人	規模 1人	規模 1人	転落・墜落	転倒	激突され	巻込まれ・挟まれ	こすれ・切られ	交通事故	動作の反動	その他	合計
製造業	食料品														
	木材・木製品														
	化学工業	2					1			1					2
	金属製品		1							1					1
	一般・電気・輸送用機械		1		3					1			2	1	4
	その他		1		1						1	1			2
小計		2	3		4		1		2	2	1	2	1	9	
建設業	土木工事	3	2			1	1	(1)	1					1	(1) 5
	建築工事（木造除く）														
	木造建築工事														
	その他の工事		1									1			1
小計		3	3			1	1	(1)	1	1		1	1	(1) 6	
陸上貨物運送事業					2		1				1				2
畜産業															
小売業			1								1				1
社会福祉施設			2		2			3					1		4
その他		2	4	3	3	1	8			1	1	1		12	
計		7	13	5	9	3	13	(1)	2	4	2	3	5	(1) 34	

※ 数値は、労働者死傷病報告より集計したものであり、()内は死亡者で内数である。

※ 陸上貨物運送事業は「道路貨物運送業」、「陸上貨物取扱業」を合わせたものをいいます。

※ 新型コロナウイルス感染症へのり患によるものを除く